

【徒然草】

【】(法顯三蔵の)

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

法顯三蔵の、天竺に渡りて、故郷の扇を見ては悲しび、病に臥し（漢の食を願ひ給ひけることを聞きて、「さばかりの）a）人の、むげにこそ心弱き気色を、（b）人の国にて見え給ひけれ」と人の言ひしに弘融僧都、優に情ありける三蔵かなと言ひたりしこそ、法師のやうにもあらず、心にくく覚えしか。

（徒然草）

問一 （ ）には、ひらがな二字が入る。文脈を考えて適切なものを、文章中から抜き出して答えよ。

問二 (a)の「人」はだれか。また、(b)の「人の国」とはどこか。それぞれ文章中の語で答えよ。

問三 右の文章には、他にもう二か所、「」でくくらなければならないところがある。その部分を抜き出して答えよ。

問四 作者は、どのようなことについて、「心にくく」思ったのか。次のア～エから選べ。

ア 人間味のある弘融僧都に感心した法師たちの態度について。

イ 人間味のある法顯三蔵を賞賛した弘融僧都の態度について。

ウ 人間味のある法顯三蔵に感心した法師でない人たちの態度について。

エ 人間味のある弘融僧都を賞賛した法顯三蔵の態度について。

（奈良）

「解答」

問一 ては

問二 (a) 法顯三蔵 (b) 天竺二

問三 優に情けありける三蔵かな

問四 イ